

やはば

議会だより

187

2014.1.16

笑顔でぺったん
(北川保育園)

初の「矢巾町議会と町民との懇談会」
町民の熱心な発言に盛り上がる…………… 2

議会で決めたこと
国民保養センター再建 水害防止対策に万全を期すべき…………… 4

一般質問 町政を問う
新農政にどう対応するのか 一般質問9議員…………… 8

議会からのお知らせ
町の発展を目指して 視察・研修・調査報告…………… 18

初の「矢巾町議会と町民との懇談会」

町民の熱心な発言に盛り上がる

平成25年12月17日に町公民館で、町議会と町民との懇談会が行われた。これは議会改革の一環として開催されたものであり、当議会として初の試みとなった。参加町民は50人弱で、その中の9人の方から各種質疑・提言・要望が出された。

懇談会は議会改革や大雨災害の対応状況の報告から始まり、町政・議会運営に関する質疑応答を行った。主な質疑応答内容は次の通りである。

国政課題

町民 TPPや秘密保護法案への議会の取り組みは。

議員 TPPは議会で反対の意見書を提出済みである。秘密保護法案は議会としての意見書は出していない。

矢巾中学校跡地利用

町民 矢巾中跡地の活用は、個人的には健康長寿の町を標榜する町の施設がふさわしいと思うが、今後どう活用していくのか。

議員 町民の間でも議論はあり、議会内でも意見が分かれている。3月前までには矢巾中学校建設調査特別委員会において結論を出したい。皆さんの意見を聞きながらいい方向に向かいたい。



町民 各公民館に土嚢の用意としては、また河川の日も早い復旧・岩崎川改修の見直し・ハザードマップの見直し等を要望する。

子育て支援

町民 我が子は重度心身障がい児(者)で現在寮にいますが、18歳を過ぎると入れる施設がなく家族の負担が大きくなる。そういう施設が町内にできないか。

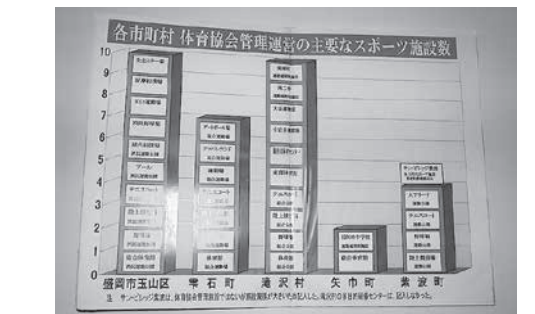
議員 国の政策としては、施設から在宅の方向であるが、町内に盛岡広域圏で唯一の「みちのく療育園」があるものの満床で入れない。施設が必要な方もいることから、議会としても今後要望していきたいと思っっている。

町民 子どもの医療費無料化の拡大ができないか。

議員 町側から来年度総合計画を定めて検討するという回答を得ている。

議会として今後も懇談会等を実施し、期待に応えられるような議会を目指していきます。

町民 (手作りのグラフを示しながら) 矢巾は近隣市町村に比べてスポーツ施設が足りない。矢巾中跡地は、スポーツ施設建設など町民が主体的に利用できるようにすべきでは。



質問者の手作りグラフによる提言

大雨災害

町民 矢巾中跡地の活用に対しての請願書を提出し、常任委員会を傍聴したが、継続審査となったことに不満であった。特別委員会の傍聴は可能か。

議員 今後も特別委員会の中で継続審議していくが、傍聴は可能である。

町民 大雨水害で岩崎川が氾濫したが、避難勧告が遅かったのでは。

議員 今後の町民への避難勧告も含め、情報伝達をできるだけ迅速に行うよう町側求めている。

町民 矢巾中跡地の活用について、急いで町民の意向を聞くべきでは。

議員 その点についても、特別委員会の中で協議していく。

アンケートで出された主な感想

- ・回数を増やし、数地区に分けて開催してほしい。
- ・地域懇談会のミニ版のような感じがした。
- ・議会として進めている内容がわかってよかった。
- ・もっと町民と議論して未来の矢巾を考えてほしい。
- ・とても良い企画だが、女性の皆さんが参加しやすい日時で開催してほしい。
- ・ぜひこのような機会を多くしてほしい。
- ・議員を身近に感じることができた。
- ・討議の時間が短い。2時間以上必要だと思う。



熱心に訴える参加者

国民保養センター再建

水害防止対策に万全を期すべき

議会で決めたこと

12月定例会は、12月10～13日の会期で開催され、人事案件や補正予算、条例等を審議しました。

補正予算

補正予算は、一般会計、2特別会計、水道事業会計および下水道事業会計で計上され、一般会計は約2億5840万円を追加し、総額105億5761万円となりました。主な内容は次の通りです。

▼除雪事業

4695万円

▼水害被災者生活再建支援

1157万円

▼新エネルギー導入事業補助

90万円

【主な質疑】

国民保養センター

質問 現在の場所での再建は危険なのではないか。専門家の意見は聞いているか。

答弁 水路・道路等の改修が必要であると認識している。安全性については専門家と検討中である。

新エネルギー

質問 太陽光発電について今年度の申し込みは終了か。また来年度の見込みは。

答弁 平成23～27年度までで約1000万円の事業となっているが、すでに800万円ほどの事業費が使われている。今後については財政事情も勘案し検討する。

除雪

質問 除雪は何社で請け負っているのか。

答弁 今年度は28業者である。町直営と合わせ、除雪車両は59台で対応する。

反対討論

国民保養センターの再建について、安全が完全に担保されおらず、調査段階での予算計上は時期尚早である。安全が担保されるまでは慎重に調査をすべき。

小川 文子



休業中の国民保養センター

主な歳出

▽子育て支援対策臨時特例事業費補助 1554万円

▽農林施設災害復旧事業債 8110万円

▽国民保養センター災害復旧事業 1億3872万円

▽農林施設災害復旧事業 1億1440万円

条例

消費税増税に伴い 使用料改正

平成26年4月1日から消費税率が5%から8%へ改正され、施設の維持管理において負担が増加することから、使用料の見直しに伴い関連条例が一部改正されました。

【主な質疑】

質問 時間当たりの料金設定をしていない施設もあるが、その判断基準は。

答弁 短時間での利用が多いところは時間当たりの設定をしており、そういった方が少ない施設は設定していない。

質問 矢野駅にあるコンビニとの契約はどうなっているのか。また多目的ホールに区画整理課の事務所が移転するが、町民が利用できるスペースが残るのか。

答弁 コンビニは時間での契約ではなく、JRから敷地を借りた分の貸借契約となっている。また多目的ホールは通路部分しか利用できないが、インフォメーション等を利用してもらいたい。

反対討論 消費税増税はリスクを促進し、大企業が儲ける手法である。よって、消費税増税に伴う使用料値上げに反対である。

川村 よし子

公民館の使用時間・使用料の改正

これまでの使用時間区分を改め、9～17時、17～21時30分の2つの区分にし、それぞれ1時間ごとの使用料を設定しました。

【主な質疑】

質問 これまで利用してきた人たちにとっては値上げにな

駅西口駐車場月額 駐車券の期間変更

月額駐車券は現在最長で3カ月となっていますが、更新手続き回数の軽減を目的に最長6カ月としました。

なお、2時間を超えた駐車料金は、消費税増税に伴い値上げになります。



町公民館で開催されている弦楽教室

議会で決めたこと

各議案の採決状況

平成25年第4回定例会

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文字	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案74号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案75号	岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案76号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案77号	矢巾町立公民館条例の一部改正		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案78号	矢巾町総合グラウンド設置及び管理等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案79号	矢巾町立都市公園条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案80号	南昌グリーンハイツ設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案81号	矢巾町立学校施設の使用料に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案82号	矢巾町歴史民俗資料館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案83号	矢巾町農業研修施設設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案84号	矢巾町文化会館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案85号	矢巾町野外活動施設設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案86号	矢巾町水道事業給水条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案87号	矢巾町公共下水道条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案88号	矢巾勤労者共同福祉センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案89号	矢幅駅東西自由通路等の設置及び管理に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案90号	矢巾町民総合体育館条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案91号	矢巾町屋外運動場照明施設設置及び管理に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案92号	矢巾町国民保養センター設置条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案93号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案94号	矢巾町駐車場条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案95号	矢巾勤労者共同福祉センターに係る指定管理者の指定等に関し議決を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案96号	矢巾町民総合体育館及び矢巾中学校屋外運動場照明施設に係る指定管理者の指定等に関し議決を求めること		○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	可決
議案97号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案98号	平成25年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案99号	平成25年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案100号	平成25年度矢巾町水道事業会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案101号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対 退=退席

注：藤原議長は採決に加わらない。

災害対策調査特別委員会最終報告

安全・安心に過ごす環境を



26年度初旬に復旧予定の山王茶屋前橋

このたびの水害を受け、今後も豪雨、地震、竜巻など天災が予想されることから、次の点について検討されたい。

○河川・ダム・斜面対策については、しっかりと検証し、関係機関に対して強くその対策を要望していただきたい。

○特に開発中の駅周辺土地区画整理事業においては、災害対策を見直すことも必要である。

○河川やダム等の監視方法や住民に対する情報提供については、万全な対策が必要である。

○自主防災組織の設立を促すとともに、その育成も考慮しなければならない。

災害を未然に防ぐ手立てを最大限対処すべきであり、未来の子どもたちに安全・安心に過ごすことのできる環境を残すため、ハード・ソフトと併せてその仕組みづくりを構築してもらおうよう強く要望し、提言とする。

委員長 長谷川 和男

議会で決めたこと

議会で決めたこと

みなさんからの請願

▽旧矢巾中学校跡地の利活用策として医療系専門学校の誘致を求める請願

請願者 矢巾町商工会
会長 佐々木 嘉七

紹介議員 芦生 健勝

教育民生常任委員会 で継続審査

【審査経過】
請願者代表および紹介議員から説明を受けた後、慎重審議をした。委員全員が請願の内容を理解しつつも、次の2つに意見が分かれた。

1. 矢巾中学校建設調査特別委員会の調査項目とも密接に関係していることから、継続調査とすべき。
2. 採択か不採択かを定めるべき。

採決の結果、3対2で継続審査とすることになった。

人事案件

教育委員の任命に
同意



せきむら しょうこ
関村 昭子さん(再)
(新田2区)

ズバリ 町政を問う



新農政にどう対応するのか 経営のモデルケース作成



ひろた みつお 議員
廣田 光男 議員

質問 日本の新しい農政は、経営所得安定対策等を見直し、コメの需給調整は飼料用米や加工用米への作付け誘導の強化など、新たな制度の定着に向け、5年後をめどにコメの生産調整をやめる方針である。コメ農家に対する新農政への抜本的な作付け等の対応は、平成26年度水田利用計画に当たって、水田活用作物をどう指導していくのか。

町長 新たな農業政策では、まだ詳細が不明な点があるが、引き続き農協など関係団体と協議の上、指導をしていく。

質問 新たな補助金として導入される、飼料用米や加工用米の作付けに当たり、販売先をどう確保していくのか。

町長 主たる集積団体である



新農政で守れるか農村環境

農協などと連携を取りながら、販売および栽培体系を見いだしていく。

質問 農家が今後の作付け計画を行うに当たって、所得確保のためのモデルケースが必要であるが、ケースバイケースで作成した資料の提供をどう考えはないか。

町長 早期に情報収集活動をして、対応策を検討し、本町の農業経営のモデルケースとして資料提供していく。

要であるが、ケースバイケースで作成した資料の提供をどう考えはないか。

町長 早期に情報収集活動をして、対応策を検討し、本町の農業経営のモデルケースとして資料提供していく。

地域活動予算に 自由裁量を 支援制度を 内部で検討

質問 町民の提案による地域活動に、町民税の1%を予算化し自主性を高める検討をする考えは。

町長 他自治体の支援制度について情報収集を進め内部で検討していきたい。ただし、第6次総合計画に定めた事業の取り組みや、8月の災害対応もあり、財政的に1%予算を振り向けることは現状では無理である。

質問 住民の自発的な活動に対し、地域活動団体に100万円を上限とした財政支援をすることで、協働による支援策を考えてはどうか。

町長 コミュニティ条例で地域活動に引き続き支援をしていく。



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。12月定例会では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

● 廣田 光男 議員…… P9

- ① 新たな農業政策と本町農政の見直し
- ② 地域活動に支援を

● 谷上 哲 議員…… P11

- ① 岩手医大・附属病院移転に伴うインフラ整備と経済面での活性化策
- ② 本町における観光資源の創出と開発

● 小川 文子 議員…… P13

- ① 特定秘密保護法案
- ② 水害対策
- ③ 駅前に建設予定の複合施設
- ④ 子どもの医療費無料化の拡大を

● 山崎 道夫 議員…… P15

- ① 8月9日の大雨被害の復旧状況と今後の対応策
- ② 中学生のインターネット使用実態と依存防止対策

● 昆 秀一 議員…… P17

- ① できるだけ介護にならない健康な心身づくり
- ② 障害福祉サービスの行動援護の理解と推進
- ③ 移動・送迎支援に対するの周知等

● 村松 信一 議員…… P10

- ① 矢巾中学校跡地活用策
- ② 介護保険制度改正に対する矢巾町の取り組み
- ③ 平成26年度の予算編成

● 藤原 由巳 議員…… P12

- ① 本町における今後の財政運営方策
- ② 本町の基幹産業である農業をどう導いていくのか

● 齊藤 正範 議員…… P14

- ① 第6次総合計画基本計画の計画遂行
- ② 徳丹城史跡の保存と活用
- ③ まちの安全・安心

● 川村 よし子 議員…… P16

- ① 町の農業政策
- ② 高齢者の医療・福祉対策
- ③ 矢巾温泉郷活性化

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、抜粋し内容を要約して掲載しています。



議員 谷上 哲

医大病院開院に伴う対応は 道路・上下水道を順次整備

質問 岩手医大附属病院の開院に伴うインフラ整備は。

町長 開院予定の平成31年までに、スマートインターチェンジの設置や徳田橋の架け替え・必要な道路・上下水道など順次整備を行っていく。

質問 農商工連携における市場産業の活性化策に対する行政としての関わりについて、特に本町農産物の利用促進を問う。

町長 「ゆくたがりの夕べ」の開催などにより、特産品の販売促進を図り、本町農産物を利用した特産品開発に努めていく。

矢巾町商工会を窓口創作料理の試作に取り組み、安全・安心でおいしい本町特産品の積極的な宣伝を行う。

矢巾中跡地活用に公募を 龍澤学館の申し出を協議中



議員 村松 信一

質問 矢巾中跡地活用策の構想について以下問う。
跡地活用について、事業計画をどう具現化する考えか。

町長 グラウンドは町民が使う施設とし、議会の理解が得られれば町の発展に資するとの観点で、学校法人龍澤学館に対し医療系・福祉系の専門学校用地として賃貸をしたいと考えている。

質問 跡地活用策について、公募による方法についての考えはないか。

町長 教育施設としての活用が望ましいとの考えの中で、龍澤学館の申し出を協議中であり公募は考えていない。

質問 専門学校開設により町にどのようなメリットが考えられるのか。



創作料理が披露されたゆくたがりの夕べ

観光資源の 創出と開発を 次期計画で検討

質問 ジョギングや歩くスキーなど、生涯スポーツ・通年スポーツが可能な環境の整備、駐車場機能を含めた城内山の活性化策について問う。

町長 城内山は気軽に登れる山で、展望台からの見晴らしは矢巾町内一円、盛岡市・紫



更地になった矢巾中学校跡地

町長 駅西の乗降者の増加による経済活性化・学生の町内居住による民間需要の効果、学生の各種事業への協力が期待できる。

医療・介護連携は 提供体制を整える

町長 医療・介護関係職種が連携し、在宅医療・在宅介護の提供体制を整え、本年度「在宅医療介護連携促進事業」を立ち上げる。

質問 介護保険制度改正による医療と介護の連携を問う。

町長 在宅医療・介護連携強化、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進などに力を入れ、町包括支援センター運営協議会の評価点検を強化する。

26年度税収 見込みは 増額の見込み

質問 好転の兆しの経済状況の中、平成26年度予算編成の歳入のうち、税収の見込みについてどう捉えているか。

町長 各税目合計で、前年度比2.9%増のトータルで9000万円増額の33億2000万円を見込んでいる。

波町まで一望できる所で、展望台の改修や景観を考慮した維持管理を行い、四季折々の樹木を定植し整備を検討する。

城内山を含む西部地区は町の観光拠点であり、次期総合計画でぬさかけの滝・矢巾温泉郷・大白沢地区など広域にわたり、観光名所とすることを検討する。

質問 長期的視点に立ち、本町の観光の顔として産直施設を設置し、農商工連携による運営の一大プロジェクトを行政主導でできないか。

町長 町内5つの産直組織で運営する産直団体連絡協議会で、施設の在り方や、商品開発等の研修の機会を設けるなど取り組みを実施している。本格的な産直施設の建設は現在考えていない。

今後、矢幅駅前開発や医大移転等の状況を見ながら、地元農家による地場産品の流通活性化や雇用の場の確保に向け調査研究を行っていく。



おがわ ふみこ 議員
小川 文子 議員

特定秘密保護法廃止を 「知る権利」侵害する懸念



特定秘密保護法の廃案を求めるデモ行進

質問 特定秘密保護法は、国民の知る権利、報道の自由を奪うものであり廃止すべきと考えますが、どう捉えていますか。
町長 国家の機密漏えい防止は重要と捉えているが、「特定秘密」の内容が曖昧なことや、国民の「知る権利」を侵

今後の町債残高見通しは 本年度ピークで徐々に下降



ふじわら よしみ 議員
藤原 由巳 議員



被災農地の復旧工事（新田地区）

質問 今後の財政運営において、町債の起債・返済・残高の見通しは。
町長 普通会計の起債発行額は、総額21億8000万円の見通しとなっている。返済は平成28年度に償還が

一般質問 町政を問う

質問 複合施設は駐車場がなく利用しづらいのではないかと、町
町長 少し離れているが、町
質問 複合施設は複合施設は、
町長 現在のところ活動は行っていないが、同会からの情報を参考として対応したい。

駅前複合施設の見直しを

質問 複合施設は複合施設は、
町長 現在のところ活動は行っていないが、同会からの情報を参考として対応したい。

質問 町長も参加している「地方自治に日本国憲法の理念を活かす岩手県市町村長の会」の取り組みは。
町長 現在のところ活動は行っていないが、同会からの情報を参考として対応したい。

子どもの医療費無料化の拡大を26年度中に検討する

質問 県内はもとより、全国で子どもの医療費無料化は拡大しており、本町でも拡大する考えはないか。
町長 平成26年度中に総合的および計画的な施策を定め、対象年齢の拡大も併せ支援策を検討する。

質問 国家公務員らの罰則が厳しいことから、全国町村会等を通じ国会へ意見書を挙げることはないか。
町長 今後町村会とともに法案への対応を考えていく。

質問 図書館は複合施設への移転ではなく、矢中跡地に図書館を建設しては。
町長 現在の図書館は狭く、中心市街地という立地条件や利用者へのサービスの観点からも総合移転を検討している。

質問 国家公務員らの罰則が厳しいことから、全国町村会等を通じ国会へ意見書を挙げることはないか。
町長 今後町村会とともに法案への対応を考えていく。

質問 図書館は複合施設への移転ではなく、矢中跡地に図書館を建設しては。
町長 現在の図書館は狭く、中心市街地という立地条件や利用者へのサービスの観点からも総合移転を検討している。

害する懸念を残したままでの成立であり、もつと国民の声を聴き、議論を重ねることが必要であったと考えている。

が設置予定の駐車場等の利用が可能である。

本町農業をどう導くのか 国からの指導を受け引き続き努力

質問 来年度の米生産目標数
町長 24年度の納税額は5万5000円であり、ホームページで周知している。さらなるPR活動の検討をしたい。

質問 ふるさと納税への取り組みは。
町長 基本的には災害復旧費用庫負担金などで措置する。災害復旧の見通しは、緊急性を考慮し順次執行する。

質問 豪雨災害への財源確保計画と復旧の見通しは。
町長 基本的には災害復旧費用庫負担金などで措置する。災害復旧の見通しは、緊急性を考慮し順次執行する。

質問 6次総合計画での農業振興の進捗状況の把握と施策目標の達成は。
町長 進捗状況は、予算編成の事業実施検証シートを作成し把握している。国の施策方針を十分把握し、国からの指導を受けながら目標達成に向け努力していく。

質問 集落営農の実態と経営陣の後継対策は。
町長 各組織でバラつきはあるが、法人化への移行条件は整いつつあると捉えている。後継対策は、新規就農者発掘に努め、勉強会などを開催し、育成などを図る機会を醸成する。

ピークとなるが、平成29年度以降の元利償還金は徐々に下降するものと見込んでいる。本年度が残高ピークで約133億9000万円になり、徐々に下降する見込みである。

量はいつ提示できるか。飼料米への取り組みは。
町長 12月20日に市町村および地域農業再生協議会合同会議において提示される予定である。

飼料米は販売先の確保、単収向上に向けた取り組みを進める。

量はいつ提示できるか。飼料米への取り組みは。
町長 12月20日に市町村および地域農業再生協議会合同会議において提示される予定である。



やまざき 山崎 道夫 議員

橋崩落箇所を早期復旧を 新年度以降に着手予定

質問 豪雨災害から4カ月経過したが、復旧状況は。
町長 道路・橋梁・河川については、国庫負担申請を行い、10月下旬に査定を受け、22カ所の被害箇所のうち3カ所については復旧工事が完了しているが、その他は順次工事を発注する予定である。
 その他、農林関係や上水道等の復旧は年度内で復旧するよう進めている。

質問 岩崎川橋と山王茶屋前橋の復旧見通しは。また、流れを阻害しかねない橋桁は取り壊すべきではないか。
町長 山王茶屋前橋については、26年度初旬から現状復帰で工事着手予定である。
 岩崎川橋については、県で予定している河川改修事業と



仮設歩道橋を設置予定の岩崎川橋

調整を図りながらできるだけ早期に復旧できるよう協議している。橋桁は、早期に撤去したい。

質問 岩崎川橋は通学路でもあり、子どもたちや地域住民は大変不便をきたしている。

26年度に復旧工事に取り掛かるよう進めるべきでは。
町長 仮設歩道橋は1月中旬には完成させたい。また、復旧工事については27年度からの予定であるが、用地交渉を進め、できるだけ早く工事着手できるように努力する。



さいとう 齊藤 正範 議員

水害への新たな取り組みは 河川に水位計・カメラ設置

質問 8月9日の大雨による災害の経験を踏まえ、新たな取り組みについて聞こう。
町長 災害発生情報を地図上で把握するため、ゼンリン地図との利用協定締結、水害地域を網羅したハザードマップの作成を行う。
 J Aが公民館に設置している屋外スピーカーと役場との接続無線整備・町外のエリアにも発信できる緊急速報メールを整備する。
 主要河川には水位計やカメラを設置し監視する設備の検討などが必要と考えている。

質問 防災専門家のOBから、自主防災組織の活動への指導をいただいている。
町長 地域防災計画の策定や、防災活動などさまざまな指導

をいただいている。
 自主防災組織活動の指導についても検討をするが、各組織でも消防分署や地域内の防災活動経験者などの協力を得た訓練を実施してもらいたい。

わたまるくんの
わたまるメール

次のアドレスに空メール(件名、本文なし)を送信すると登録画面にアクセスすることができます。
 yahabakara@km.moweb.jp

登録してね!

QRコードからも、空メールが送信できます!

町からの防災、行政情報をお知らせする「わたまるメール」

住宅地域は史跡指定の除外を
 全域買い上げ方針
質問 徳丹城史跡指定区域で、

買い上げをしていない私有地があるが、生活に大きく影響する一般住宅地は、買い上げに今後長い時間を要するのであれば、指定から除外した方がよいのではないかと。
教育委員長 宅地・農地を問わず、全域の買い上げを基本方針としており、史跡から除外するという方針はもっていない。

質問 徳丹城史跡のPRや多くの人に周知を図るため、新たなイベントやレクリエーションの開催と、史跡外に駐車場を配備する考えはないか。
教育委員長 現在行っている春まつりを、古代平安行列・文化財体験型メニューなどで充実させ、町民と一体となった祭りとする。

さらに、レクリエーションスポーツや憩いの場としての活用も広げていく。
 駐車場については、史跡整備計画の中で検討していく。

中学生のネット
 依存はあるか
 現在のところは
 いない

質問 インターネットの使い過ぎで、ネット依存に陥り、健康障害や不登校につながっている中高生が増えていることが問題になっているが、本町で、生活に支障をきたしている中学生はいるのか。
教育委員長 アンケート調査を各中学校で実施したが、携帯やスマホの所持率は約23%で、パソコンやゲーム機などの所持を含めると約90%がインターネットを利用できる環境にあるが、ネットの使い過ぎで、生活に支障をきたしている生徒は現在のところいない状況である。

なお、今後もインターネットの危険性や、適切な利用について、保護者とも連携し全校生徒に指導していきたい。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



議員 昆 秀一

介護担い手の人材育成は ボランティアを育成

質問 介護予防の地域支援事業への移行後の取り組みをどうするか。

町長 二次予防事業対象者把握事業を実施している。個々の状況に合わせて二次予防通所型事業として各種教室も実施している。

さらに認知症対策も行って、第六期介護保険事業計画策定の際に実施するニーズ調査により支援内容を検討する。

質問 介護の担い手となる人材の育成は。

町長 人材の育成は重要な課題であり、介護予防ボランティア育成事業を実施し、確保に力を入れている。

減反廃止で本町への影響は 詳細不明で農家は大きな不安

質問 減反廃止は集落営農組織にどのような影響を与えるのか。

町長 制度の詳細が不明であり、農家は大変不安を感じているが、集落営農による農業の実施および農地の集積化は推進していかねばならない。

質問 TPP参加との関連をどのように考えているのか。

町長 必ずしもTPP交渉に参加したことにより、急ぎよ制度変更を行ったものとは考えていない。

TPP交渉参加に関わらない問題であり、農政改革を通じて国内農業の活性化を図ることを目的と捉えている。



議員 川村 よし子



認知症の理解を深める養成講座

質問 障害福祉サービスである行動援護の理解と推進を体制を整える

る行動援護の理解の深め方や、利用推進についての町の考えを聞く。

町長 行動援護とは、知的・精神の障害のある方に対して行動する際に必要な各種援助を行うものである。町内での



減反廃止で転作はどうか (小麦作付け中の水田)

質問 認知症や高齢世帯増に見守りと訪問で対応

に対する町の支援の取り組みは、また、特養待機者の実態は。

町長 認知症の方や家族への支援は地域の見守り事業、相談事業を行っているが、高齢世帯には年2回ほど保健師や看護師が訪問している。

特養待機者は27人、1年以上の入所が必要な方は8人となっている。

保養センターの再開めどは

26年中に開業予定

質問 8月9日の大雨で休業している保養センター・やまゆりハウスの再開めどと、矢巾観光開発株式会社の雇用体制は。

また、南昌山線の整備計画はどうか。

町長 26年12月の完成に向け準備しているが、今後の大雨、土砂災害に万全を期していく。雇用については宿泊と食堂部門の臨時・パート従業員の6人は自宅待機としており、賃金の6割を補償している。南昌山線の復旧は27年度まで要する。

サービス利用実績はないが、利用促進を図る必要があると考えている。今後相談支援センターと連携を図り利用へ結びつく取り組みを進める。

移動・送迎支援事業の周知を

今後さらに理解できるように努める

質問 移動・送迎に対する各種サービスをわかりやすく利用者に示すべきでは。

町長 移動・送迎支援事業は、障害の程度と利用目的や条件等から各支援があるが、個別に相談に応じている。今後町民が理解できるように努める。

質問 福祉有償運送という輸送方法も有効だが、利用を促進しては。

町長 すでに運営しているNPO法人があり、利用されている。今後対象者が広がることを理解している。

町の発展を目指して 視察・研修・調査

議会改革特別委員会経過報告

より開かれた議会を目指し

矢巾町議会初めての

議会報告会を開催

議員発議で設置された議会改革特別委員会は、1年を経過したが、この間、議会の仕組みを見直し活性化を図るため、議員一丸となって精力的に活動を行ってきた。

の実現に向け、先進的に取り組んでいる他の議会の改革に追いつき、町民から親しまれ、関心を持ってもらえる議会づくりのため、目標を一つ一つ確実に実現する努力を重ねていく。

委員長 廣田 光男

短期実施の具体的目標として、議会報告会の実施を掲げてきたが、昨年12月17日に、矢巾町議会初めての「議会と町民との懇談会」という形で議会報告会を開催することができた。

今後、通年議会の実施や、会派制の導入など



町民懇談会打ち合わせ中の議会メンバー

総務常任委員会所管事務調査11月13～15日

災害対策先進地を視察

【福岡県飯塚市】

8月9日の集中豪雨による被害を受けて、防水害対策を確立している福岡県飯塚市を視察した。飯塚市の市内中心部には遠賀川のほかに一級河川があり、幾度も水害を受けてきたことにより対策を強化してきた。

自治会の自主防災は65%組織され、さらに消防・自衛隊・警察OB等により防災講習会や土囊づくりを実施している。また防災無線は市内の98%をカバーし、河川へのライブカメラの増設を計画している。本町の防水害の対策には、ハード面の整備とともに避難所の整備、要支援者の支援体制などソフト面での整備が重要であり、今後の取り組みが求められる。

【佐賀県平野ヶ里遺跡】

年間69万人の観光客が訪れ



ボランティアが活躍する吉野ヶ里遺跡

る吉野ヶ里遺跡を中心とする町づくりでは、各種イベントを毎月のように開催し集客に力を入れている。本町の場合、徳丹城跡地を利用した集客には、特色のある企画運営が必要である。例えば古代の装飾品造り、花市、野菜市、軽トラ市などの四季を通じたイベントの開催による観光客の誘致を推進するべきである。

委員長 米倉 清志

産業建設常任委員会所管事務調査10月29～31日

町の活性化を図る四万十を調査

【高知県まぢづくり四万十(株)】

四万十市では市内すべての商店振興局会が、一堂に会してまちづくり四万十株式会社を立ち上げ、「まちの相対的な活性化を図る」という観点から、理想的で極めて示唆に富んだ事業を展開している。主要活動として取り組む「いちよこさん市場」に関する運営は、単に産直運営に終わることなく、その地域の商店が抱えている多面的な課題に対処するために、積極的に取り組んでいる。

経済と集落の維持や環境の保全等、経済効率だけでは測れない大きな役割を担っている。このことから、行政が主体となり国の基幹産業である農業との役割の上から、農業後継者育成の世論を高めることが望まれる。

委員長 芦生 健勝

地域事情の違いはあるが大変参考になった。

【愛媛県JAえひめ南】

JAえひめ南では、JA岩手中央と姉妹提携を結び、柑橘類と青果物の販路拡大を目的に、年間交流を重ねている。農業生産活動は安全な食料の生産・供給とともに、地域



JAえひめ南の大規模選果場を視察

教育民生常任委員会所管事務調査11月6～8日

世界に誇る健康の町を研修

【福岡県久山町】

岩手医科大学が「いわて東北メディカルメガバンク機構」を立ち上げ、次世代医療体制の構築を目指している。「目指せ日本一健康な町やば」を標榜している本町において同事業に理解を深め、いかに協力していくか検討するため、九州大学が久山町で行っている先進的取り組みについて調査研究した。

久山町の検診は、昭和36年から成人病検診として開始され、現在では生活習慣病予防検診として実施されているが、「世界に誇る健康の町」として52年の歴史を刻んでいる。

【長崎県佐々町】

介護保険制度は、当初から給付にかかる費用の抑制が課題であったが、介護予防を重視した法改正が施行されてきたにも関わらず、見直すたび



先進的健康管理を行っている久山町

に保険料は上がってきている。独自の施策で予防事業に取り組む、年間1600万円ほどの節減効果をあげている長崎県佐々町の先進的取り組みについて調査研究した。

【佐賀県武雄市図書館】

民間業者に運営を委託する手法で全国的に注目の武雄市の図書館を見学した。

委員長 村松 輝夫

議会からのお知らせ

議会からのお知らせ



競技中の会場



受賞の盾を手にする筆者



第34回全国障害者技能競技大会 努力賞

く どう あ や の
工 藤 綾 乃 さん (新田2区)

慣れない場所で 力を発揮し自信に

昨年11月23日に千葉県で行われた第34回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）に岩手県選手として参加してきました。

私が参加したワードプロセッサ部門というのはパソコンのワードを使って書簡文・作文文・英文の3つを時間内に作成するというものです。

ワードを使っている文書作成は高校時代に実習先などでたくさん作ってきたり、検定も取っていたのであらゆるワードの機能を使えていると思っていました。しかし、全国大会の過去の練習問題を見たとき全国大会のレベルの高さを感じ知らされました。

私を含め42人と種目の中で一番人数が多くパソコンがらっと並んだ会場はとても迫力がありました。

競技が始まってしまったら、午前中は流れるようにあっと

いう間でした。最後の方は、自分が自分じゃないくらい集中力がなくなってきたて焦りましたがなんとか競技は終了しました。

閉会式で結果発表の最終日、競技のできの方は、時間が足りず作成枚数には及びませんでした。デザインはうまくできました。スクリーンに映る金、銀、銅には私の名前はありませんでした。銅は私の名前はありませんでしたが、別枠で努力賞を頂きました。

努力賞という形で評価してもらえたこと、慣れてない場所でも自分の力を発揮するということはずごく自信になりました。

腕の力が弱く、文章入力スピードはこれ以上どうすることもできませんが、他で補えることはできるので、その部分を今後も頑張っていきたいと思っています。

あ と が き

昨年は全国各地で集中豪雨や竜巻など大災害が発生したが、本町もまさに例外ではなかった。

思うように復旧が進まない状況に、危惧する声が聞こえてきているが、12月議会は、一日も早い復旧への対応や防災力を高めるには何が必要か、さらには、どういう取り組みをしていくのか、などの議論が熱心に交わされた。

今後、災害に立ち向かっていくため、さまざまな弱点的克服が必要不可欠であり、そのため住民・議会・行政が一枚岩になって態勢づくりを進めていくという強い決意が求められていると思う。

編集委員長

山崎 道夫

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

藤原 梅昭

